

## Lezioni per principianti 11

### **Mi faccia vedere i prezzi. ～命令文と使役動詞【fare】と補助動詞～**

簡単な日常会話を通して、イタリア語理解に必要な文法を学ぶ初級者向けの教材です。  
日常生活で使える便利な表現を使い、会話にも慣れていきましょう。

## 【～Mi faccia vedere i prezzi.～】

講師の指示に従い、下記会話を読んでみましょう。

★1



Staff (l'insegnante)



Customer (lo studente)

**Mi dica.**

お伺いいたします。

**Buongiorno. Senta.**

すみません。

**Vorrei noleggiare un'auto. Mi faccia vedere i prezzi, per favore.**

車を借りたいのですが、料金表を見せてください。

**Da questa parte, signore.**

こちらでございます。

**Voglio usare questa macchina per 12 ore. La prego di aggiungere un seggiolino per bambini.**

こちらの車を12時間使いたいのですが。チャイルドシートも1台お願いします。

**Certo. Scriva qui il Suo numero di telefono e il Suo indirizzo, per favore. Potrebbe usare Satnav con 8€.**

かしこまりました。こちらに電話番号と住所をお願いします。8€でナビが付けられます

**Lo aggiunga, per piacere. ... (scrivendo) Ecco a Lei.**

ナビもお願いします。…（記入して）こちらです。

**Grazie. Sa come usare Satnav?**

ありがとうございます。ナビの使い方はご存知ですか？

**Non si preoccupi.**

大丈夫です。

### 【Esercitazione pratica A】

講師がホテルスタッフ役をしますので、チェックイン時に希望の部屋を伝えてみましょう。  
(禁煙・喫煙、眺望、アメニティの希望、レストラン予約など)

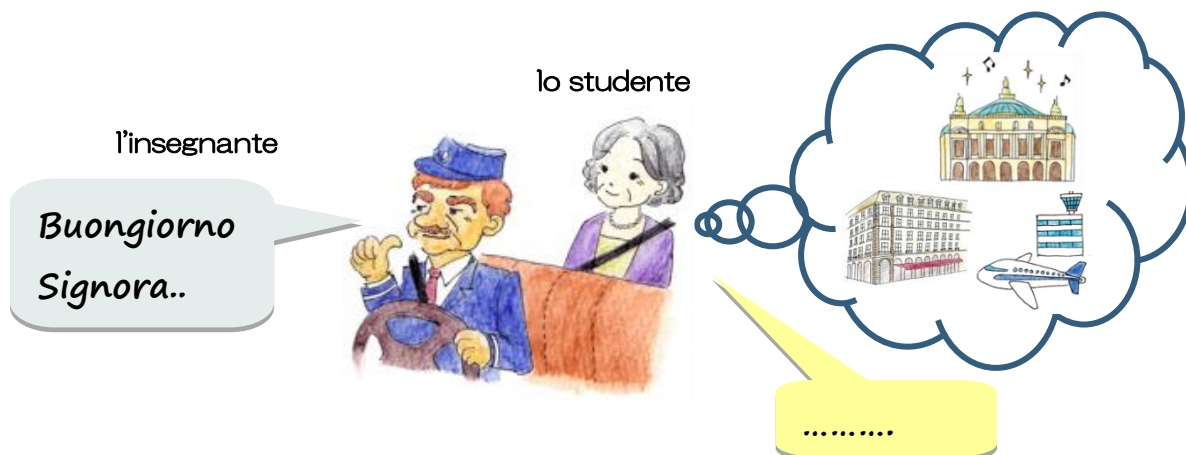
★2



### 【Esercitazione pratica B】

講師がタクシーの運転手役をしますので、トランクの利用や行き先を伝えたり、道案内をしてみましょう。

★3





## Espressione del giorno (今日のキーフレーズ)

**Mi faccia vedere i prezzi.**

## 👉 Punti importanti (ポイント)

- ④ イタリア語の命令法【imperativo】を学習します。  
 イタリア語の命令形は、動詞の活用で表現します。(主語は付けません)  
 【直接法命令形の規則動詞活用】

	-are		-ere		-ire			
	基本	abitare	基本	scrivere	基本	aprire	基本	finire
io	-		-		-		-	
tu	-a	abita	-i	scrivi	-i	apri	-isci	finisci
Lei	-i	abiti	-a	scriva	-a	apra	-isca	finisca
noi	-iamo	abitiamo	-iamo	scriviamo	-iamo	apriamo	-iamo	finiamo
voi	-ate	abitare	-ete	scrivete	-ite	aprite	-ite	finite
Loro	-ino	abitino	-ano	scrivano	-ano	aprano	-iscano	finiscano

※Leiは「あなた」、Loroは「あなたがた」の意味(敬称)で用いられます。  
 ※noiは「～しましょう」という勧誘の表現です。

- ⑤ 目的語代名詞が付く場合、再帰代名詞が付く場合、Lei、Loroの活用形を除き、代名詞は動詞の活用語尾につきます。

	目的代名詞が付く場合 (mi/ti/lo/la/ci/vi/li/le/ne など)	再帰動詞
例	prendere+lo	divertirsi
io	-	-
tu	prendilo	divertiti
Lei	lo prenda	si diverta
noi	prendiamolo	divertiamoci
voi	prendetelo	divertitevi
Loro	lo prendano	si divertano

※dire/fare/dareの語尾に目的代名詞がくる場合、tuの活用形のみ、代名詞の最初の子音を重ねます。

例：Dimmi. (di' +mi) / Fallo. (fa' +lo) / Daccela. (da' +ce +la)

⑥ 否定命令

tu に対する命令否定（～するな）は、命令法の活用形ではなく、【non+不定詞】となります。

再帰動詞の場合は、【Non+ti+不定詞】または【Non +不定詞（e を取って）ti】となります。例：Non ti preoccupare. = Non preoccuparti.

tu 以外に対する命令否定は、【non+命令法】となります。

⑦ 動詞【fare】は【fare+不定詞】で「～させる」という使役動詞になります。

不定詞が自動詞（直接目的語を持たない）場合、自動詞の意味上の主語は【名詞】もしくは直接目的代名詞で置かれます。

不定詞が他動詞（直接目的語を持つ）場合、他動詞の意味上の主語は【a+名詞】もしくは間接目的代名詞にな置かれます。

⑧ 補助動詞【verbi servili】

英語の助動詞にあたるもので、補助動詞+動詞（不定詞）で、下記の意味を表します。

【potere+不定詞】～することができる（都合がよい）

【sapere+不定詞】～することができる（能力がある）

【volere+不定詞】～したい

【dovere+不定詞】～しなければならない

	potere	sapere	volere	dovere
io	posso	so	voglio	devo
tu	puoi	sai	vuoi	devi
lui/lei/Lei	può	sa	vuole	deve
noi	possiamo	sappiamo	vogliamo	dobbiamo
voi	potete	sapete	volete	dovete
loro	possono	sanno	vogliono	devono